

AOTS事業のご案内

Live in Harmony Together, Grow Together.

2025年7月

1

1. AOTS 団体概要

正式名称：一般財団法人海外産業人材育成協会

The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships (AOTS)

設立：1959年（昭和34年）8月10日

事業目的：我が国と海外諸国の相互の経済発展
及び友好関係の増進に寄与する

基本財産：7 億円

事業規模：約 5 9 億円（2025年度予算）

事業所：国内拠点：

研修センター兼事務所

（東京（北千住）・関西（大阪市・あびこ））



東京研修センター



関西研修センター

海外拠点：バンコク、ジャカルタ、ニューデリー

2024年度までの累計実績

受入研修	208,348人
専門家派遣	10,703人
海外研修	246,968人
インターンシップ(日本人)	1,359人
寄附講座	23,653人

- ・経済産業省などの政府開発援助(ODA)の実施機関として長年活動中
- ・海外産業人材向けの人材育成事業などを60年以上実施
- ・近年では国内の外国人向け事業も多く実施（EPA経済連携協定に基づくインドネシア等からの看護師、介護福祉士候補生受入事業、技能実習生向け日本語教材開発事業など）

ミッション：人材育成を通じ、「共に生き、共に成長する」世界の実現を図る

2. 国庫補助事業による民間企業支援スキーム(1)

<技術協力活用型・新興国市場開拓事業(研修・専門家派遣・寄附講座開設事業)>

管理研修【受入】

技術研修【受入】

講師・専門家派遣【海外・遠隔】

日本で教える

日本で教える

日本の企業

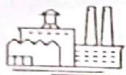
現地で/遠隔で教える



AOTSで企画・実施

- 生産管理・品質管理・企業経営等の管理技術を習得

直接申込



海外企業

日本の管理技術を体系的に学びます

管理研修

- ・各界を代表する一流の講師陣による専門講義
- ・日本の管理技術を短期間で体系的に習得
- ・管理研修のエッセンスを遠隔研修で習得も可能

- 現地企業の技術者等
- AOTSの研修センターにて導入研修(日本語および日本の文化・社会)
- 日本企業にて固有技術の習得

新しい技術の習得等
現地企業の幹部養成

日本を知る、生産現場で
感じることができます

受入研修

- ・在留資格「研修」での企業内実務研修が可能
- ・AOTSでの導入研修による日本・日本語理解
- ・来日前に遠隔で事前研修も可能



海外研修

講義室・生産現場等での集合研修(短期)

- 主に日本からの講師を派遣
- 短期間で講義、演習を交えた研修
- 一度に大人数への知識の普及

専門家派遣

生産現場等で直接指導(1ヵ月~)

- 日本企業の専門家
- 現地企業でのOJTによる技術指導
- 管理体制の強化

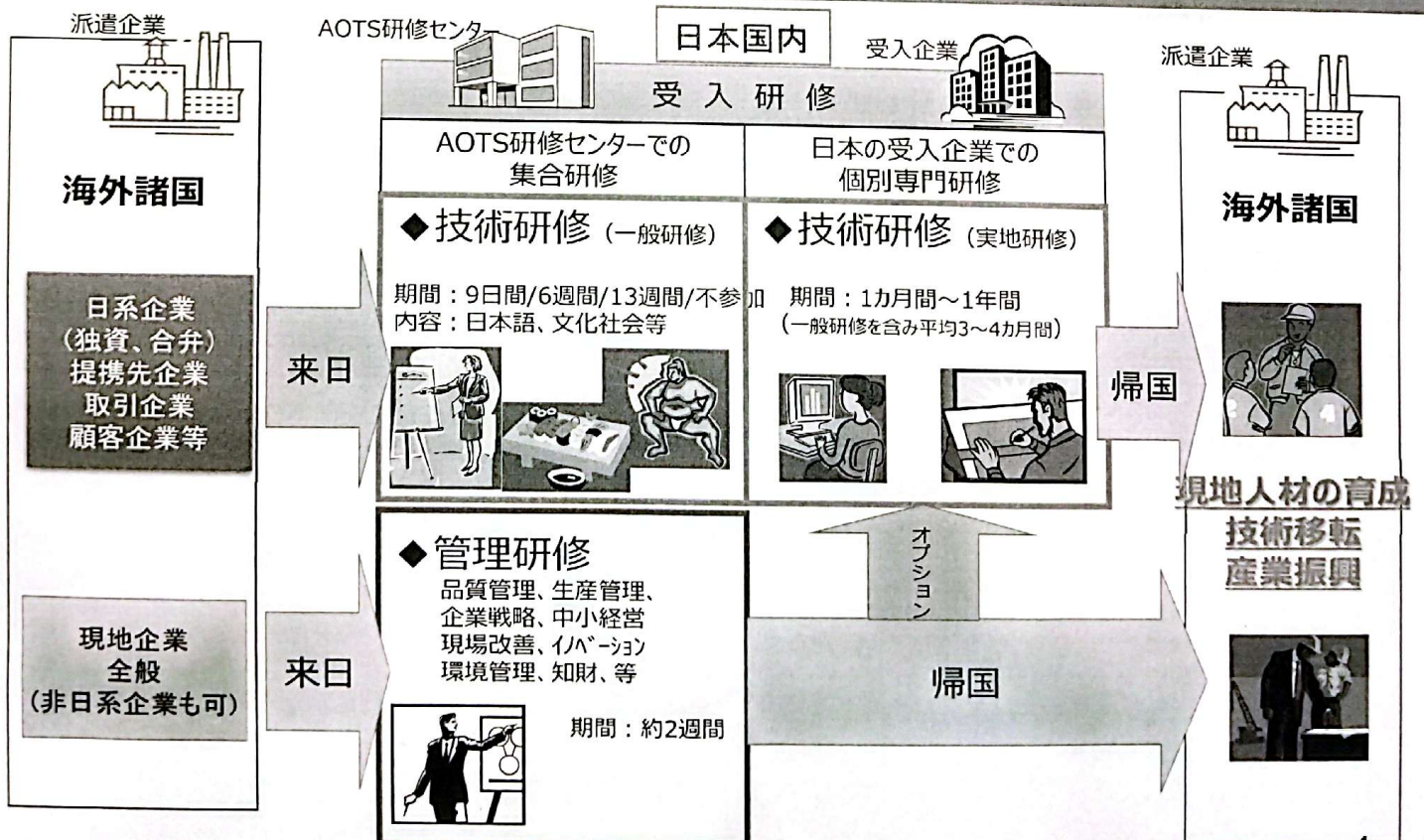
- ・日本企業の従業員等を専門家として派遣可能
- ・専門家のための危機管理体制あり
- ・遠隔での研修・指導も可能

技術協力活用型・新興国市場開拓事業(研修・専門家派遣・寄附講座事業)

<ODA国庫補助事業>

目的	日本企業の海外展開に必要となる現地拠点強化を支援するため、開発途上国における産業人材育成を官民一体で実施することにより、現地の産業技術水準の向上や相互の経済発展に資すること。			
対象分野・対象国	対象分野: 次の 1)、2) をいずれも満たす内容 1) 開発途上国・地域の産業発展に寄与する技術移転であること。(実施目的が、現地法人でこれまで実績のない新技術の導入や従来と比べて高性能な製品・サービスへのモデルチェンジの対応等) 2) 開発途上国・地域の実情に応じた課題解決の視点が含まれていること。 対象国: 開発途上国が対象 重点分野の補助率: 一般企業が受入研修に申請する場合、次の要件を満たす内容は補助率が1/3より重点化した1/2となる。 ・開発途上国・地域の産業に大きく寄与する技術協力と認められるもの	補助対象経費 ・渡航費(アフリカのみ) ・滞在費 ・実地研修費 ・国内移動費 ・旅行保険代 ・受入研修費等	海外研修 ・講師謝金 ・通訳謝金 ・講師通訳等旅費 ・教材費 ・資機材費 ・安全対策費等	専門家派遣 ・技術協力費 ・旅費 ・旅行保険代 ・派遣諸費 ・安全対策費等
補助率	中堅/中小 一般企業	2/3 アフリカ4/4 1/2または1/3 アフリカ2/3	2/3 2/3	2/3 アフリカ等4/4 1/3 アフリカ等4/4

受入研修の流れ



案件名：IT技術者育成による高度測量技術の移転（ネパール）

概要：

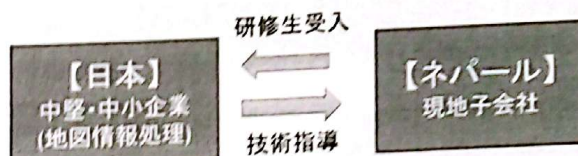
受入企業：中堅・中小企業（航空測量会社）
業種：情報サービス業（地図データ作成・測量・コンサルタント）
研修生受入人数：2名
研修期間：一般研修6週間、実地研修5ヶ月

経緯及び目的：

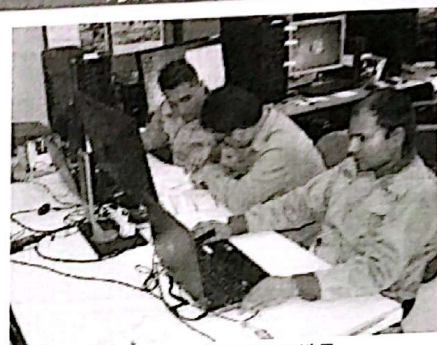
・ネパールでのODA工事（小水力発電所）におけるヘリコプターによる建材運搬で協力したことを契機にネパール企業と交流。ネパールに優秀なIT技術者が多いことを知り、1997年に現地に法人を設立。2006年から継続的に受入研修制度を利用中。
・測量・編集作業の技術力を向上を図るため、ソフトウェアやWebサービスの開発を進めるにあたり、システムサーバーやネットワーク環境の管理者となるために必要なシステムの構築作業の研修を実施。
・特に今後の海外での市場獲得を見据えて最新の地理情報システム（GIS）の研修を実施。

事業成果：

・初期の研修生は部長クラスにまで昇進、現在では完全現地化を達成、日本人駐在員なし。
・今後電子地図の市場拡大が見込まれるアセアン地域での事業拡大を目指す。



子会社の現地化と最新技術の移転



日本での実地研修の様子

5

○ 海外研修（第三国型）の活用事例

インドに於ける西・中部アフリカ空調ビジネス人材育成研修

【協力企業：ダイキン工業株式会社】

- 日本企業のものづくり、地域特有のニーズに応える製品開発の取組への理解を深めるために、アフリカ向け空調機器の輸出拠点のインドに、アフリカの設計事務所・建築事務所等の経営者層を招へいし研修を実施。
- アフリカにおける粗悪品蔓延の課題を改善すべく、環境に配慮した製品・サービスの研修を実施。
- そのほか、用途に応じた適切な空調機器選定などの研修も実施。



インドのトレーニングセンターでの講義・演習
や同地の販売代理店の見学等三国型の特性を
活用した研修を実施

研修生人数：13名（アフリカ5ヶ国から招聘）
講師：ドバイから2名、カメルーンから1名派遣
研修期間：3日間

日本企業トバイ現地法人
（空調機メーカー）

トバイ現地法人の従業員、
技術者等（講師）



- 営業ノウハウ・商品や技術への知識・サービス体制構築のノウハウや重要性などの認識を深め、各販売店のアフリカでの売上強化に繋げるとともに、据付、サービス等に関する技術移転を実現
- インドでの成功モデルと、ドバイで実施している商品・技術研修や提案手法をアフリカに横展開し、アフリカの産業発展に資する人材育成に寄与する。

6

2. 国庫補助事業による民間企業支援スキーム(2)

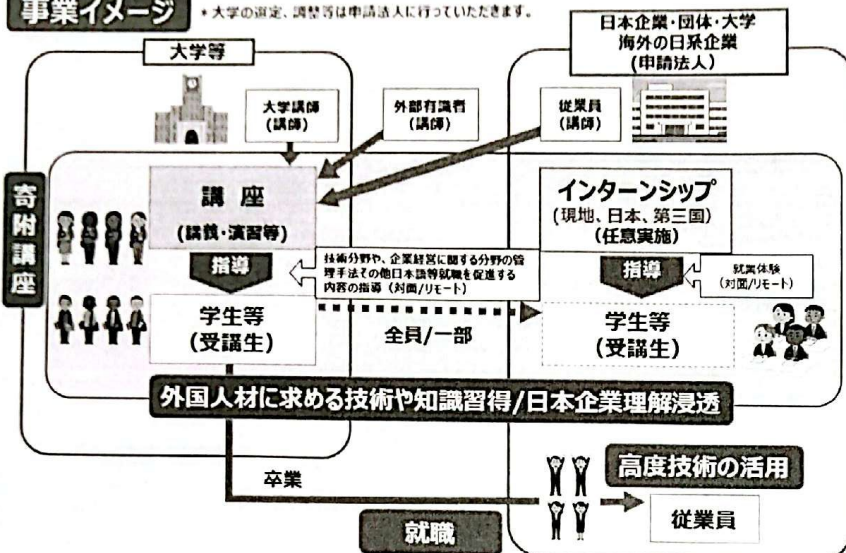
<技術協力活用型・新興国市場開拓事業(研修・専門家派遣・寄附講座開設事業)>

寄附講座【海外・遠隔】

- ✓ 高度外国人材を採用したい日本・日系企業等向けの国内外の高等教育機関における寄附講座の開設を支援
- ✓ 国内外の拠点でのインターンシップも可能
- ✓ 受講生の「囲い込み」を推進

事業イメージ

※大学の選定、調整等は申請法人に行ってください。



- ・日本・日系企業に求められる能力を向上
- ・学生の日本・日系企業への就職意欲を向上

対象経費等

対象分野等	補助対象経費	寄附講座	
		講座実施費 ・講師技術料 ・教材費 ・講師通訳等旅費 ・資機材費 インターンシップ実施費 安全対策費等	
補助率	中堅/中小	2/3	
	一般企業	2/3	

○ 高等教育機関における寄附講座の活用事例

概要：AI対応のためのIT人材獲得支援

申請企業：大手IT企業

事業内容：情報コンサルティング

講座対象大学：ハノイ工科大学、ベトナム国家大学ハノイ校（受講生数：40名）

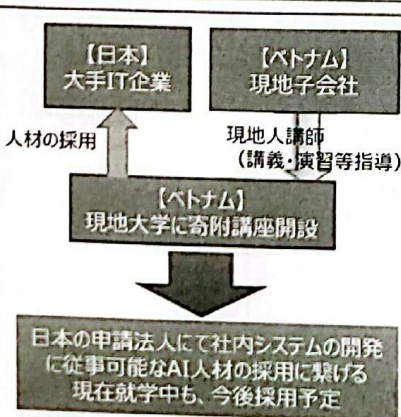
講座開設期間：2020年11月～2021年2月

講座内容：

・Pythonプログラミング言語、機械学習のアルゴリズム、AI技術サービスシステムに関する講義、グループワーク、プログラミング演習

背景・必要性：

・申請企業は上場を果たし成長を続けている一方で、業務の自動化、効率化を求められている。AI技術を活用して大幅な業務の改善と効率化を進める必要があるものの、人材不足により具体的な行動に移せていない。同社子会社の所在国ベトナムにおいても、大学でAI技術を学ぶ環境がまだ十分ではなく、技術力のある人材確保が難しい現状がある。



写真：現地講義の光景

概要：デジタル製造技術のための人材獲得支援

申請企業：日系大手産業機械企業（タイ）

事業内容：産業機械の販売、保守等、ユーザー企業のオペレーター向け訓練

講座開設対象大学：王立ブノンベン大学（カンボジア）（受講生数：30名）

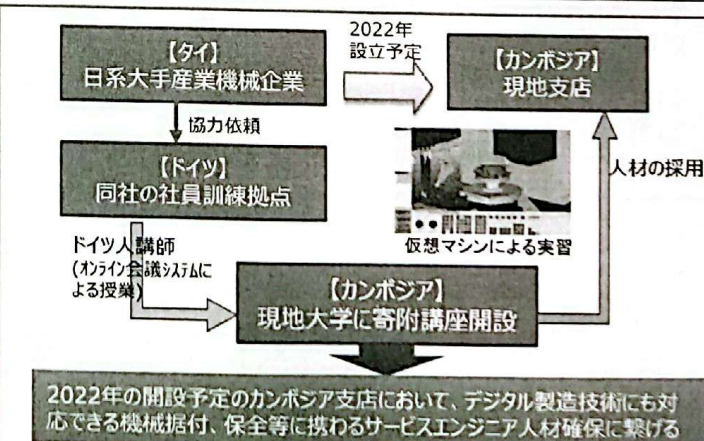
講座開設期間：2021年2月～6月

講座内容：

・切削加工技術（仮想マシンによる実習を含む）、機械加工製造ラインの仕組み、製造現場のデジタル化、アディティブマファクチャリング等
・インターンシップ：製造過程の流れ及び周辺業務の体得

背景・必要性：

カンボジアは、タイの自動車産業やベトナムの電子産業に次いで、申請企業の製品の市場として急速に重要性が増している。重要顧客もカンボジアに拠点を移す等、同社の高度化した製造機械の導入及びサービス・メンテナンス部隊の拠点構築のために、カンボジアの人材の育成が急務である。



国庫補助事業による民間企業支援スキーム(3)

<アジア等ゼロエミッション化人材育成等事業;非ODA>

I. 低炭素技術輸出分野に係る人材育成事業 (申請者: 日本の民間企業)

日本企業が有する省エネ技術の海外移転を通じて本事業対象国の産業分野でのエネルギー利用の効率化・CO2排出削減を進める。

A. 生産プロセス省エネ化に関わる人材育成事業 (製造業対象)

①技術研修 (受入研修) ②海外研修 ③専門家派遣

B. 省エネ機器等の導入・メンテナンスに関わる人材育成事業

①技術研修 (受入研修) ②海外研修



製造現場に係る
省エネ化

II. 先進技術展開 (グリーン成長戦略) 分野に係る人材育成事業

(申請者: 日本の民間企業、団体、大学等高等教育機関)

カーボンニュートラル実現に必要な先進的技術の普及のため社会実装に向けた現地人材育成・二国間協力強化などの環境整備に取り組むことにより、アジア新興国等と共にカーボンニュートラルを実現していく。

①技術研修 (受入研修) ②キーパーソン招へい ③セミナー ④寄附講座開設
(例) 洋上風力・太陽光・地熱産業/水素、燃料アンモニア産業/次世代熱エネルギー産業/原子力産業/自動車・蓄電池産業/半導体・情報通信産業/航空機産業/カーボンサイクル・マテリアル産業/次世代電力マネジメント等



技術普及促進に
よるカーボンニュートラルの実現

【対象国・地域】

アジアの国・地域等 (中国、中東を含む)

【補助率】

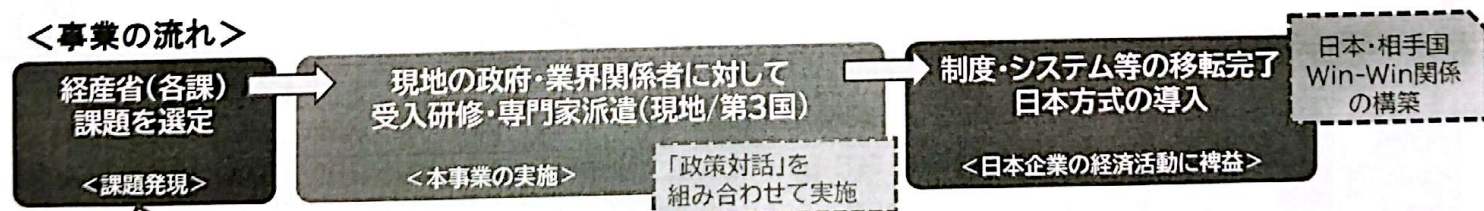
中堅・中小企業 1/2、大企業1/3、海外研修・寄附講座: 2/3、高等教育機関・公益法人 3/4₉

3. (METI委託) 技術協力活用型・新興国市場開拓事業(制度・事業環境整備事業)

令和6年度「技術協力活用型・新興国市場開拓事業(制度・事業環境整備事業)」 11.2億円

- 日本企業が新興国等でビジネスを行う場合に、相手国の規制のために参入できない、制度や基準が不明確なために日本製品・サービスの優位性が発揮できないことがある。
- このため、日本企業が事業展開をしやすくなるよう、相手国における制度の制定、規制の緩和を働きかけるため、現地の政府・業界関係者を対象とした研修事業を実施。

<事業の流れ>



- 日本企業の障壁となっている途上国の制度・規制(商習慣)を変え、進出を後押ししたい
- 途上国に日本の基準・認証をデファクト・スタンダードとして導入したい
- 途上国の人材をスキルアップし、日本水準のものづくりを現地で行う土台を作りたい
- 途上国企業の生産品質向上により、日本企業の取引先を増やしたい

事業実施方法

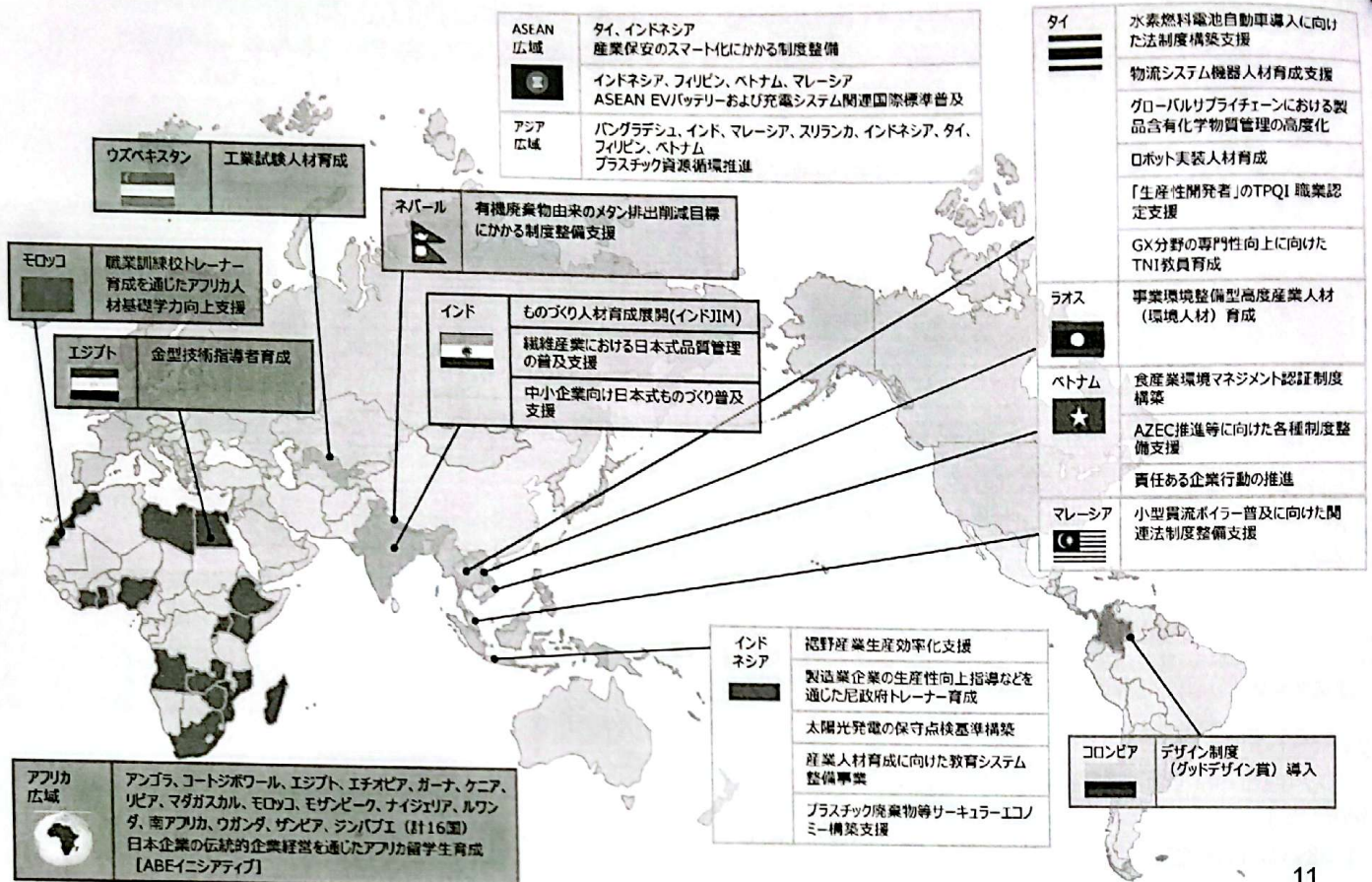
受入研修

現地人材を日本に招聘し、研修を実施
⇒ 日本で根付いている技術・仕組みを実際に目にしながら習得

専門家派遣

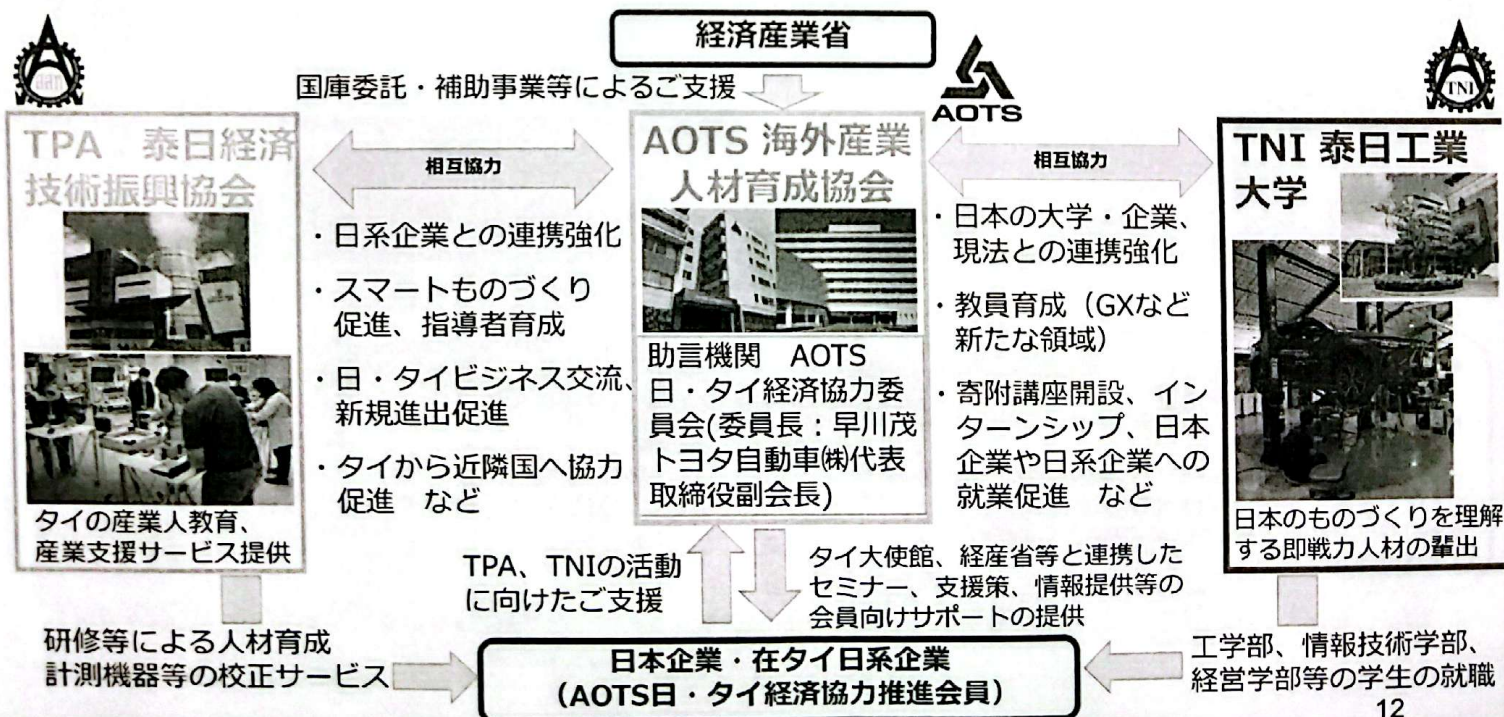
日本から専門家/講師を派遣し、海外での指導・セミナー、第三国研修を実施
⇒ 現地の状況に合わせた技術指導

令和6年度技術協力活用型・新興国市場開拓事業 (制度・事業環境整備事業) 案件一覧



4. JTECSの合併とTPA/TNIとの連携

AOTSは、泰日経済技術振興協会 (TPA) (1973年設立) と泰日工業大学 (TNI) (2007年設立) を50余年に渡り支援し、タイの人材育成と産業発展に貢献してきた一般社団法人日・タイ経済協力協会 (JTECS) を2025年4月に吸収合併した。従来の取組に加え、GX/DX、次世代自動車といった日・タイ共通の政策課題にも取り組んでいる。



日・タイ経済協力推進会員制度と協力事業の推進

- ✓ TPA及びTNIを通じた日・タイ間の協力事業と会員企業へのサポートを強化中

日・タイ経済協力推進会員制度

概要：

- ・TPA・TNIを通じた経済協力と人材育成を推進し、日・タイの友好と経済発展に貢献するとともに、AOTSによるサポートを受ける国内の企業等の会員制度

会員サポート：

- ・経済協力委員会へのオブザーバー参加（正会員）
- ・セミナー・イベント参加（在京タイ大使館、経産省等と連携）
- ・TNIインターンシップ受入割引
- ・「週刊タイ経済」日刊ニュースレター配信
- ・AOTS研修・事業の最新情報提供など

AOTSが開催したセミナー実績

①2025年3月24日 セミナー 於タイ王国大使館
テーマ：タイの未来を創る2025年のタイの重点政策と日本企業への期待（講師：タイ王国大使館 経済・投資事務所（BOI東京事務所）ガッポーン ショーティパーン公使（経済・投資））

②2025年4月15日 セミナー於AOTS東京研修センター
テーマ：日タイ未来産業の創出とその基盤となる人材について
講師：経済産業省アジア大洋州課 羽田由美子課長

③2025年5月14日 セミナー 於タイ王国大使館
テーマ：タイでの事業に関わるESG動向およびコーポレート電力購入契約とASEANデータセンターハブ
講師：ペーカー & マッケンジー法律事務所バンコクオフィス
パートナー ウィロート・ピヤワッタナメーター氏ほか

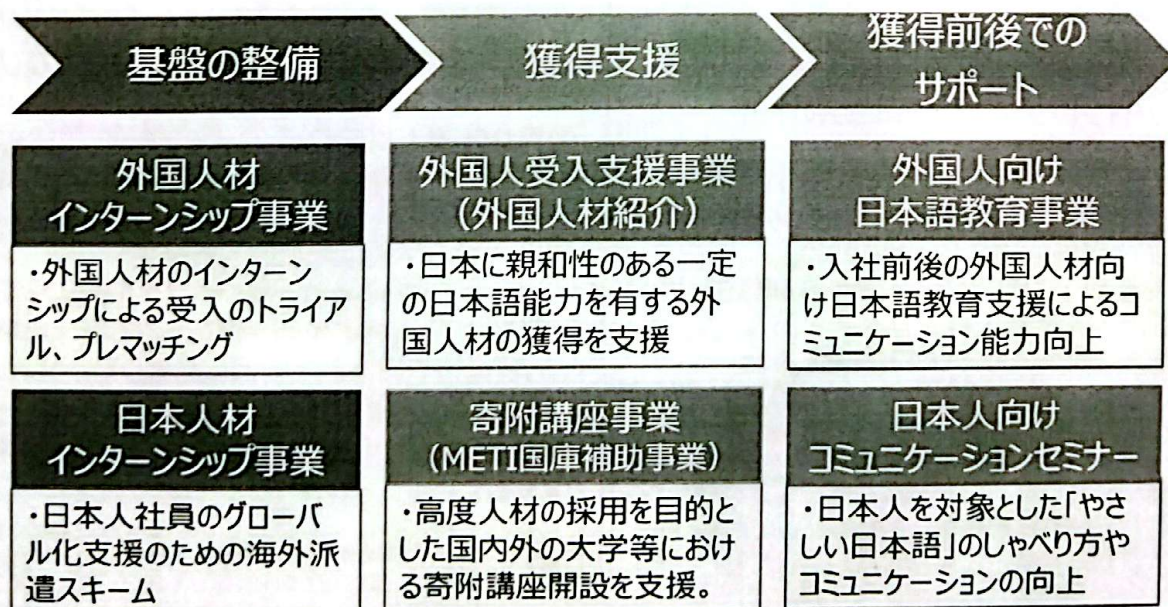
④2025年6月9日 オンラインセミナー
テーマ：現地発の人材育成を起点とした、在タイ・ASEANにおける日系サプライチェーンの高度化について（Lean、GX、DX等の促進）
講師：藤岡亮介AOTSバンコク事務所長兼AMEICC事務局代表

今後も毎月セミナーを実施予定

13

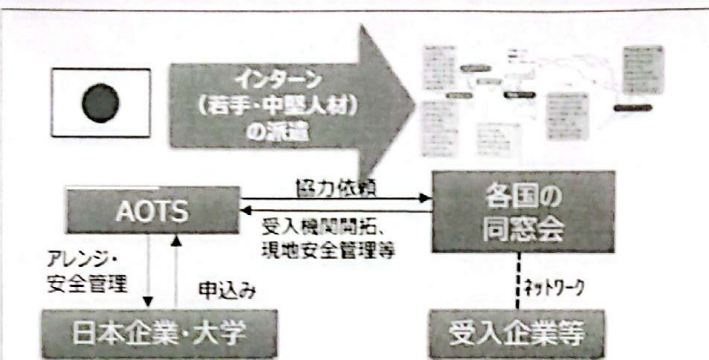
5. AOTS自主事業

- ・1959年の設立以来培った海外でのネットワーク、知見、働くための日本語教育の実績を活用して、人材の国際化のための様々なサービスを日本企業や自治体、業界等に対する外国人材に関するトータルソリューションサービスとして提供



14

○ 日本人若手・中堅社会人向け海外インターンシップ



本物の新興国体験

新興国の公的機関・ローカル企業で、オーダーメイドの「リアル」な就業経験
アウェイな環境

日本人がおらず、日本語も聞かえない「アウェイ」な環境で武者修行・修羅
場体験、行動変容やグローバル人材への気づきを促進

安全・安心のスキーム

日本シンパであるAOTS同窓会がインターン生を親身にフォロー

AOTSの信用度

新興国でのODA事業を数多く実施、新興国では日本の技術協力機関と
して一定の信用があり、公的機関を含む多くの関係者が協力

インフラ関連企業のグローバル人材育成支援例

1. 電力関連のインフラ企業が今後の海外展開を促進するべく、若手人材をフィリピンに派遣
2. 同窓会及びフィリピン商工会議所の協力で、電力関連企業でのインターンシップや新電力関連の調査を実施。
3. 現地での就業体験と幅広い人脈形成を図る。

社会課題解決型インターンシップ例

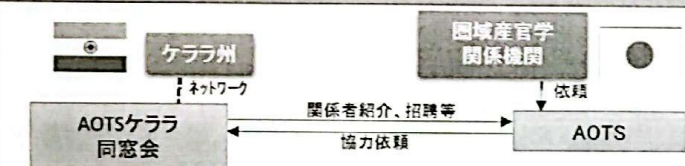
- ・学生・大学院生の派遣も可能。
- ・グローバル人材養成コースを設置する私立大学からの要請を受けて新興国の社会課題の解決に特化したインターンシッププログラムを開発。大・元研修生が主催するネパールのNGOで社会課題の理解、解決のための提案などを行うProject Based Learning(PBL)を実施。
- ・コロナ禍で現地派遣が不可能であったためオンラインで実施。
- ・学生は持続可能な農業開発、女性のエンパワメント、教育、インフラ開発の4つの分野に分かれ、現地専門家から各分野について学び、ディスカッションを実施。また現地の女性支援団体や学校、農家や飼料倉庫等と連携し、現地学校の授業風景や環境負荷の少ない農業・飼料づくりの取り組み等をオンラインで体感。
- ・研修最終日には各課題を改善するための提案を行うとともに、日本企業や投資家を想定したネパール支援のビジネスプランを考え、英語で発表。
- ・第一弾はネパールで実施したが、今後要望が多いタイやベトナムで実施予定。



15

○ 外国人材の日本でのインターンシップを通じた獲得支援

地域の外国人材の受入支援



・松江市発祥のコンピューター言語「Ruby」及び山陰地方のIT産業の国際化のための日印相互交流支援を2013年（平成25年）からインド・ケララAOTS同窓会のネットワークを活用して継続的に支援中。

・2016年度には、インド人材受入に関する日印での各種調査、及びインド人材11名の来日就業体験プログラム（短期インターンシップ）を実施し、3名が実際に就職。

・3名のうち、1名は親子3代にわたるAOTS研修生、世代を超えて日印間の「産業人材」となる。

・インド側では日本に行きたい人材が殺到。

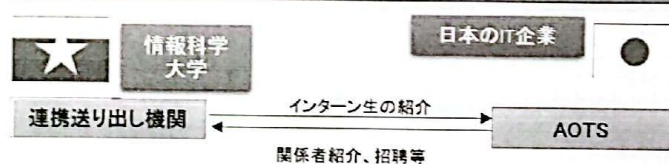
・2023年度も現在も外国人受入に関するアドバイザーとしてAOTSにて支援継続中、現地人材へのセミナーなども実施。

同様のスキームを個別企業等に導入することも可能です。

勤務中のポール氏



IT業界の外国人材の受入支援



・ミャンマー最高峰のIT系大学生のオンライン及び日本での対面型インターンシッププログラムを企画。

・優秀な外国人材をインターンシップを通じて体感して頂くと同時に、その獲得のためのプレマッチングの機会の提供が可能。

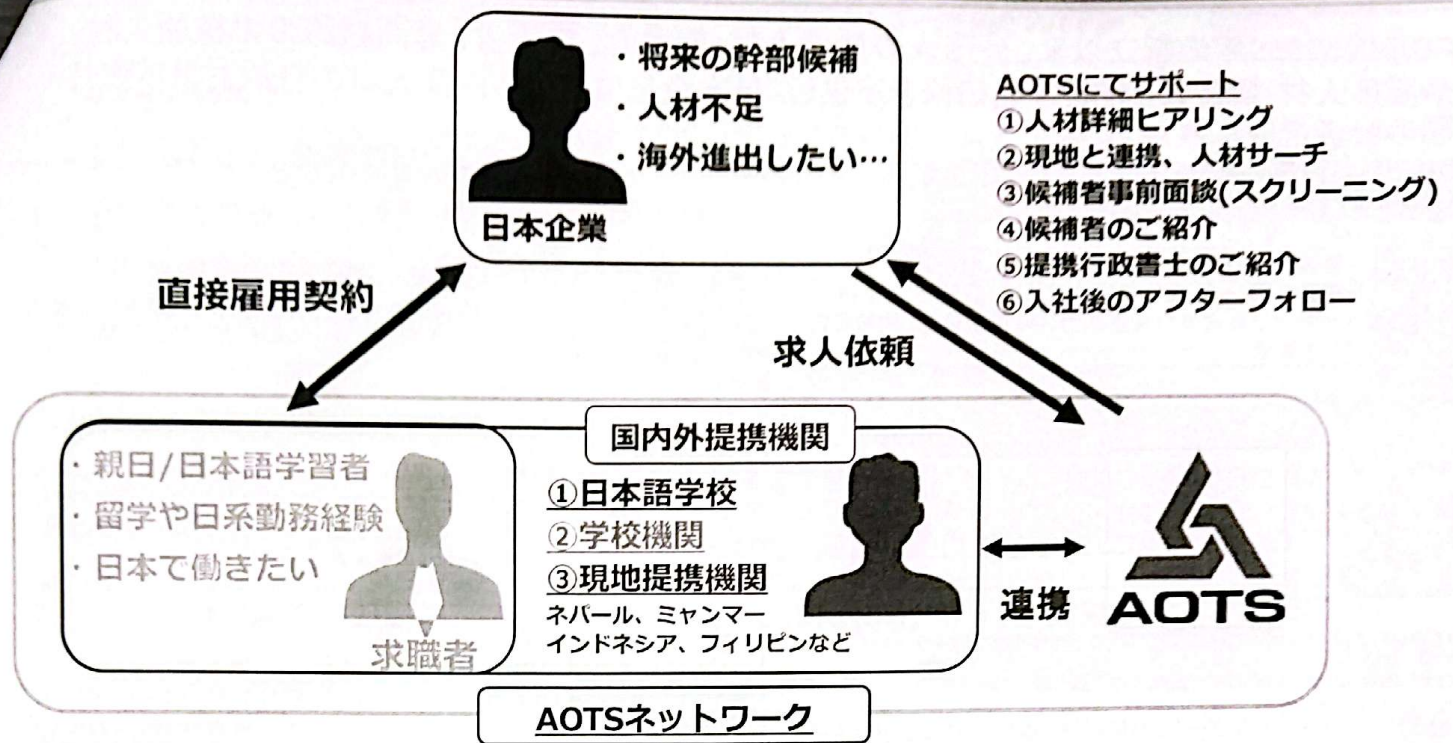
・現地大学の学長は元AOTS研修生。

・インターンシップ候補者は高いITスキルを保有すると同時に、在留資格の申請が容易になる日本の情報処理試験資格や日本語を独自に勉強している参加者が多数。日本での就労を望んでいる。

・AOTSで招聘、インターンシッププログラムの実施を予定。

16

外国人受入支援事業（外国人材紹介）



- ✓ 同窓会ネットワークから外国人材ご紹介（エンジニア/IT人材/新卒・第2新卒の留学生）
- ✓ 在留資格「技術・人文知識・国際業務」「特定技能」
- ✓ 将来の幹部候補生/中核人材、海外進出のための人材探しのお手伝い

17

外国人材活躍の実例



中堅中小業 B社

- ・コンクリート用の化学品の製造・販売企業。
 - ・製品開発等を行う技術職を募集するも、近年日本人材を採用できていない。
- ⇒ AOTSに相談。

【求人要綱】

職務経験：コンクリート・土木建設などの経験者又は新卒者
日本語：N3レベル相当以上
年齢要件：40代前半までを希望
採用人数：1名
想定給与：日本人社員と同等、職歴は考慮
福利厚生：日本人社員と同等他
その他：ゆくゆくは海外での技術営業をすることも視野に入れ、海外出張が可能で英語もできる人

【受入企業様の声】

- ・募集に対しこんなに応募があるとは思わなかった。
- ・非常に優秀な人材を採用できたと思っている。能力面は申し分なく、勉強熱心で積極的。新卒1年目とは思えない良いスタート。
- ・日本語に関しても、1年前より良くなっている+難しいことがあれば翻訳して対応できている。
- ・能力の高さもあるが本人の素質（性格、人受けの良さ）もあり、社内でもコミュニケーション良好。その為、わからないことがあっても誰かに助けをもらい対応できる。
- ・日本人で日本語ができて、業務に対する意識の違いや個人の知識などで差が出る。彼の能力と吸収力などを評価している。日本人社員の起爆剤になっている部分もある。



インドネシア、ミャンマーの人材あわせて10名の人材リストを提示。
その中から、以下の4名を面接し、選考。

インドネシア

1. DDさん(M)

インドネシア在住。インドネシアの国立大学にて土木学部を卒業後、富山県立大学の大学院にて環境学を学習。日本で2年ほど現場施工管理としての就労経験あり。土木工学を専攻し、ゼネコンでの経験もあるため、コンクリートの知識も十分あり。
日本語能力試験はN3だが、日本語・英語ともにビジネスでも十分通用するレベル。

2. FMさん(M)

日本在住。京都大学院で博士号を取得。現在は豊田工業大学にて材料エネルギーの研究員として勤務。
現在契約社員として働いているが、正社員で長くキャリアを築ける会社で働きたいと、正社員でのポジション希望。コンクリートの知識は無いが、材料工学の分野に興味があり、どんな材料でも専門知識が学べるお仕事であればぜひ挑戦したいと、応募。大学院では授業が全て英語だったため、日本語は日常会話レベルではあるが、英語はビジネスレベル。

3. DPさん(M)

インドネシア在住。日本にあるコンクリートの製造会社で、技能実習生として3年間勤務した経験あり。その後、インドネシアにある日系企業（ゼネコン系）にて、主に営業を担当。今まで積み上げてきた経験と知識を活かし、もう一度日本で働きたいと、応募を希望。
日本能力試験3級に合格。日本語は日常会話、英語はビジネスレベル。

4. RMさん(M)

インドネシア在住。新卒。京都大学に入学したが、学費を払うため、アルバイトに集中して単位を落とし、残念ながら京都大学を卒業できず、インドネシアの大学に編入。
日本で土木工学に関連した仕事に就きたいという思いが強く、応募を希望。
日本語能力試験は受けた事が無く、日本語は日常会話レベル、英語はビジネスレベル。

採用

18

6. AOTSの日本語教育事業

AOTSは、1959年の創立以来、外国人の産業人材(管理者、技術者、専門職等の中核的人材や高度人材)に特化した日本語研修を提供し、日本企業における産業人材の育成および諸外国の経済発展に貢献。

1. 産業人材に特化



- ・管理者、技術者、専門職等の産業人材を対象
- ・初級レベルから技術用語(例:仕様・品質等)を習得
- ・就労／研修現場の会話能力(例:指示確認、問題報告等)を養成

2. 短期速習で話す／聞く能力を養成



- ・初學者でも6週間でN5相当以上、13週間でN4相当以上に養成
- ・就労／研修現場で必須となる「話す」「聞く」能力を養成

3. 産業人としてのソフトスキルを養成



- ・チームワーク、時間厳守、挨拶、ハウレンソウ等のソフトスキル／社会人基礎力も養成
- ・企業文化の特徴(例:5S、カイゼン)や日本の生活マナー(例:ゴミ分別)、も講義や見学を通して学習

ご利用者の声



A社
業種:鋼管の製造 研修生:フィリピン人

「秋田工場へ移動するために迎えにいった際、研修生の日本語力が思った以上に伸びていて大変驚きました」

出典:HDA Journal 通巻9号 2016年 pp.4-5 <http://www.hida-japan.or.jp/jp/pr/magazine/index.html>



B社
業種:メッキ加工 研修生:フィリピン人

「AOTSでの研修で助かったのは日本語を習得できたことです。日本語がある程度できる現地社員が要所にいてくれると大変助かるのです。」

出典:HDA Journal 通巻5号 2014年 pp.2-3 <http://www.hida-japan.or.jp/jp/pr/magazine/index.html>



C社
業種:工業炉の技術指導 研修生:タイ人

「まずびっくりしたのが、一般研修における研修生の日本語能力の上達ぶりです。(中略)6週間にわたって日本語を教育されたおかげで、日本語の運用能力が飛躍的に向上し、日本語で研修を受ける土台が整ったように感じました。」

出典:HDA Journal 通巻3号 2013年 pp.6-7 <http://www.hida-japan.or.jp/jp/pr/magazine/index.html>

19

外国人材に対するAOTS日本語教材・カリキュラムの開発

AOTSは就労者に対する日本語教育の経験を活かし、日本語教育関連教材の開発にも従事。
日本国内で高まる外国人材に対する日本語教育ニーズへの対応へ貢献。

海外で働く技術者向け日本語

1990年～

『新日本語の基礎』シリーズ
世界的ベストセラーとなった『みんなの日本語』の元になった教科書



初級～中級レベルの主教材、翻訳教材、絵教材、音声教材、ビデオ教材、講師用指導書など幅広いラインナップを展開。

日本で働く高度人材・外国人材向け日本語

留学生のためのビジネス日本語
一人財

2007年～

アジア人材資金構想事業で開発



ビジネス日本語及び社会人基礎力を総合的に養成するPBL(Project Based Learning)を実現する教材

『場面から学ぶ看護/介護の日本語』

2008年～

EPA候補者向け研修で使用



介護や看護の現場のコミュニケーション能力、記録の読み書き能力を養成する総合教材

『ゲンバの日本語』シリーズ

2021年～

AOTS自主事業



高度人材から技能人材に至るまで幅広い就労者に対する日本語教材。就労現場でのコミュニケーション能力と、現場で必要な専門用語を習得するための「初級レベル」の日本語教材。

技能実習生向け職種別日本語教材

2019年～

外国人技能実習機構委託事業で開発



技能習得に必要な指導員とのコミュニケーション能力や専門用語を学習するための日本語教材。スマートフォンアプリで学習可能(無料)。

一外国人材のための日本語研修一

貴社の外国人材の
日本語は大丈夫ですか？

- ☑ 日本で雇用している外国人社員
- ☑ 貴社が独自に行う海外からの研修参加者
- ☑ 海外で採用し日本で働く予定の外国人

AOTSの特徴

60年の歴史 実績20万人
産業人材に特化 話す / 聞く
優秀講師 研修センター

AOTS日本語研修 をご検討下さい。

A. 外国人社員ビギナーズ

対面・集中・合宿型

- ・ 入門者・初心者向け
- ・ 基礎を効率的に学びたい方

期間: 6週間 時期: 定期開催
レベル: 初級 会場: AOTS研修センター

B. オンライン スキル別

必要なスキルに特化

1. はじめての日本語コース
2. ゼンバの日本語コース
3. <話す> 仕事の日本語コース
4. <書く> 仕事の日本語コース

C. オーダーメイド型

貴社向けにカスタマイズ

ご相談に応じます
時間、内容、人数、教材、会場

貴社向けのオリジナル研修

21

7. 看護師・介護福祉士候補者日本語研修事業

事業の目的

経済連携協定に基づき来日した看護師・介護福祉士候補者が、日本での生活、病院・介護施設等における就労および国家試験合格に向けた学習を円滑に行えるよう、日本語による総合的なコミュニケーション能力、看護・介護に関する基礎知識、更には職場での心構え等を習得すること。

カリキュラムのイメージ

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
① 生活	日本語 文化	復習 中級前半（400～450時間）						
		講義・見学・演習・活動（看護42時間・介護50時間）						
② 職場	日本語 職場	専門日本語Ⅰ・Ⅱ（225～275時間）						
		講義・見学・演習・活動（看護98時間・介護90時間）						
③	自学 練習	講義・演習・活動				実践		
【評価】	● 定期試験							

受入状況

		2019	2020	2021	2022	2023	2024
インドネシア	看護師候補者	38	23	8	16	15	14
	介護福祉士候補者	295	272	263	270	297	295
	計	333	295	271	286	312	309
フィリピン	看護師候補者	42	49	-	-	-	-
	介護福祉士候補者	283	261	-	-	-	-
	計	325	310	-	-	-	-

8. AOTS同窓会について

AOTS・HIDA同窓会（以下AOTS同窓会）は、日本で行われた研修の参加者（帰国研修生）がAOTS研修という共通体験を基盤に結束し、世界各地で帰国研修生が自主的に組織したNGO。多くの親日的な産業人材が日本とのつながりを保ち、共に活動する、他に類をみないネットワークとなっている。

AOTSと理念を共有している同窓会は、日本での研修経験を活かし、様々な草の根活動を自主的に展開中

AOTS同窓会の活動

- ・AOTSとの協力事業を含む、人材育成・産業振興活動
- ・日本語教室、文化講演会等の文化・社会活動
- ・同窓会同士の南南協力を含む国際協力活動
- ・会員と家族の懇親パーティー等、会員の親睦活動
- ・同窓会組織の運営

AOTS同窓会；世界46カ国・地域に75同窓会が組織化

WNFプログラム

WNF（World Network of Friendship）はAOTS同窓会から自主的に提唱された、開発途上国の自助努力と相互協力による他に類をみない南南協力活動。同窓会員、AOTS職員および趣旨に賛同くださった一般の皆様からの寄付を財源としたWNF基金により、AOTS同窓会間同士の研修生相互交換を推進している。



専門家派遣による非破壊検査研修（スーダン）

ヨーロッパ

ブルガリア (1)
チェコ (1)
フィンランド (1)
マダガスカル (1)
ポーランド (1)
ルーマニア (1)
スロバキア (1)
トルコ (1)
ジョージア (1)

東北アジア

中国 (10)
韓国 (1)
モンゴル (1)
北朝鮮 (1)

東南アジア

インドネシア (2)
マレーシア (2)
フィリピン (2)
シンガポール (1)
タイ (1)
ベトナム (1)
カンボジア (1)

ラテンアメリカ

アルゼンチン (1)
ボリビア (1)
ブラジル (2)
チリ (1)
コロンビア (1)
グアテマラ (1)
メキシコ (2)
パラグアイ (1)
ペルー (1)
ベネズエラ (1)

アフリカ

カメルーン (1)
エジプト (1)
エチオピア (1)
ガーナ (1)
ケニア (1)
ナイジェリア (1)
スーダン (1)
タンザニア (1)
ザンビア (1)
南アフリカ (1)

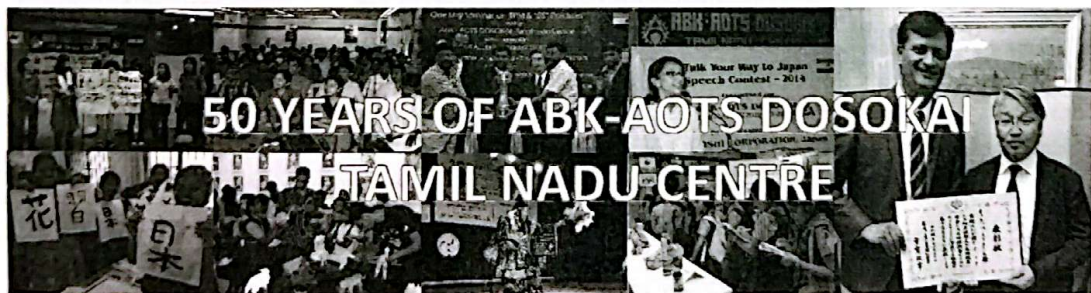
南アジア

バングラデシュ (2)
インド (10)
ネパール (1)
パキスタン (3)
スリランカ (1)
イラン (1)

チennai同窓会50周年式典

チennai同窓会はインドで最も組織化され活発な活動を展開する同窓会です。1975年の設立以来、チennai同窓会はインドと日本を結ぶ架け橋となり、日本語教育、文化交流、技術協力の促進等様々な取り組みを通じて日・インド相互理解と友情を育んできました。

2025年で50周年を迎えるにあたり、2025年3月8日に50周年式典が開催され、在チennai日本国総領事やJETRO、現地産業界および日本語教育機関、AOTSインド他同窓会等、様々な関係者にご参加頂きました。



チennai同窓会の主な活動

- 日本的経営普及活動：
同窓会創立以来、地元企業向けに日本経営紹介としてSS・改善の研修や監査等現在も続いている。南インド大手企業等向けに工場現地監査を含むTPS等指導を実施。年1回Award Ceremony開催し日本大使館やJETROも参加。
- 日本語教育：
日本語学校運営は現在チennai同窓会の主事業になっており、日本語学校を運営し、タミルナドゥ州内4教室、カルナタカ州バンガロールに1教室を有し、年間延べ1,000人以上が受講。講師50名位国際交流基金より南インドにおける日本語スピーチコンテスト、日本語教師会幹事、日本語能力試験JLTP試験を請け負い実施。国際交流基金の「さくらネットワーク」で講師養成や教材開発等。在チennaiのさくらネットワーク加盟現地団体は5つでその中の一つかつ最大規模がチennai同窓会、他は大学内日本語学校や外国語機関等。
- 日本紹介プログラム：
ほぼ毎月開催（日本文化や生け花等）、総領事館と共同でChennai-Japan Festivalを毎年開催。現地企業や学生向けに日本企業や日本語学校、現地人材紹介会社の紹介等を行っている。日本語学習を兼ねた交流会「日本アニメクラブ」や、在現地日本人主婦とのCoffee Meet（毎月交互に日本文化とインド/チennai文化の相互紹介）。

